

# 学生ボランティアの参加向上

## 現状

- ・地域福祉の担い手が不足
- ・市は学生や企業が新たな担い手になることを期待

ボランティア参加を行っている学校の全校生徒数とボランティア参加人数



## 改善後

- ・ボランティア参加人数を**2000人以上**にする
- ・参加する学校を**20校以上**に増加

金沢市及びその周辺には、18の大学・短大・高等専門学校と28の専門学校が存在

## 目標：ボランティアを行う**メリット**の増加

### 現状調査1

- ・学生はボランティアを行い**就職を有利に進めたい**
- ・企業の**地域貢献が活発化**している

### 現状調査2

- ・学生はボランティアに**出会い**を求めている
- ・**充実感**や**満足感**を得たい

### 対策1

企業が行うボランティアに学生が**マッチング**

### 対策2

学校同士が協力するボランティ**ア**団体をつくる

## 企業が行うボランティアを支援する学生団体をつくる!!

### 学生のメリット(学年別)

- 1年生: 出会いの場を増やせる
- 2年生: 仕事に関して早い段階から関心が持てる
- 3年生: 興味を持った企業のインターンシップに行きやすい

### 企業のメリット

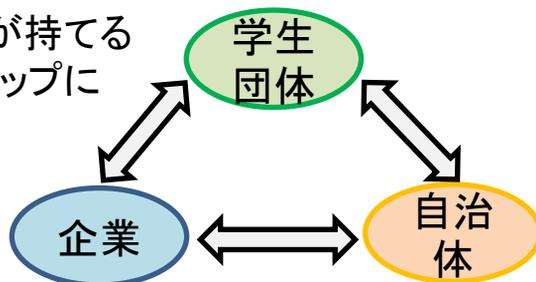
- ・ボランティアの幅が広がる
- ・学生のことを知ることができる

### 自治体のメリット

- ・地域の活性化につながる

### 今後の展望

- ・団体を設立するにあたっての具体案の訂正(体制、場所など)



メリットを生み出しあう関係

2016年度 プロジェクトデザインⅡ  
クラス・チーム番号: FS302-1  
チーム名: 未来福祉研究所  
メンバー: 池田 農人, 上嶋 大智, 大西 純平, 新谷 葉月, 高木 康太  
担当教員: 齋藤先生